

研究課題名	根管内細菌培養検査の陰性を確認した後、根管充填を行った症例の治療成績について
研究期間	実施許可日 ~2026年9月30日
研究の対象	2023年10月時点で広島大学病院歯科保存診療科に在籍する担当医から2015年4月から2023年9月の間に、広島大学病院で根管治療を受けられた患者さん。
研究の目的・方法	根管治療の最終段階に行う根管充填を行う時期の判定基準の1つに、『根管内細菌検査の陰性』があります。しかしながら、根管内細菌検査で陰性確認後に根管充填を行った歯の治療予後についての報告は様々で統一された見解は得られていません。そこで本研究では、根管内細菌培養検査の陰性を確認した後、根管充填を行った症例の治療成績について調査することを目的とします。 研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用して、調査を行います。
研究に用いる試料・情報の種類	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。カルテから使用する内容は、年齢、性別、病歴、歯種、症状の有無、治療に使用した材料、根管充填後の経過、治療前後のデンタルエックス線写真等です。（個人を特定可能な情報は解析に用いませぬ）
外部への試料・情報の提供	ありません。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日
個人情報の保護	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。そのため、情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院歯科保存診療科 助教 中西 惇
その他	なし
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や

研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

広島大学病院 歯科保存診療科

担当者：助教 中西 惇、助教 西藤 法子

〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3

電話番号：082-257-5656